

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成19年8月16日(2007.8.16)

【公表番号】特表2007-504812(P2007-504812A)

【公表日】平成19年3月8日(2007.3.8)

【年通号数】公開・登録公報2007-009

【出願番号】特願2006-525744(P2006-525744)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	7/04	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
C 0 7 K	16/36	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	A
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 P	7/04	
A 6 1 K	37/02	
C 0 7 K	16/36	Z N A
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/00	A
C 1 2 P	21/08	

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月26日(2007.6.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第IX因子/第IXa因子に結合可能であってFIXaの凝血促進活性を増大させることが可能な、配列番号：1～8に挙げられる少なくとも一種のアミノ酸配列を含む、抗体。

【請求項2】

前記抗体が少なくとも一種の相補性決定領域(CDR)を含み、その少なくとも一種のCDRが配列番号：3～8に挙げられる少なくとも一種のアミノ酸配列を含む、請求項1に記載の抗体。

【請求項3】

前記抗体が4種のフレームワーク領域内に組込まれた少なくとも3種のCDR(CDR

1、 C D R 2 および C D R 3) を含み、該少なくとも 3 種の C D R のうちの一種以上が配列番号 : 3 ~ 8 に挙げられるようなアミノ酸配列を含む、請求項 2 に記載の抗体。

【請求項 4】

前記抗体が 1 個以上の C D R 3 を含み、各 C D R 3 が配列番号 : 5 ~ 8 からなる群から選択されるアミノ酸配列を含む、請求項 3 に記載の抗体。

【請求項 5】

前記 C D R 1 、 C D R 2 および C D R 3 の各々が、配列番号 : 3 ~ 5 からなる群から選択されるアミノ酸配列を含む、請求項 3 に記載の抗体。

【請求項 6】

前記 C D R 1 、 C D R 2 および C D R 3 の各々が、配列番号 : 6 ~ 8 からなる群から選択されるアミノ酸配列を含む、請求項 3 に記載の抗体。

【請求項 7】

前記抗体が配列番号 : 1 ~ 2 に挙げられる少なくとも一種のアミノ酸配列を含む、請求項 2 に記載の抗体。

【請求項 8】

前記抗体が配列番号 : 1 ~ 2 に挙げられる両方のアミノ酸配列を含む、請求項 7 に記載の抗体。

【請求項 9】

前記抗体が I g G 抗体である、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 10】

前記抗体がモノクローナル抗体である、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 11】

前記抗体が抗体フラグメントである、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 12】

前記抗体が組換え抗体である、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 13】

前記抗体が単鎖抗体である、請求項 12 に記載の抗体。

【請求項 14】

前記抗体がヒト化抗体である、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 15】

前記抗体が標識されている、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 16】

請求項 1 に記載の抗体を発現する細胞。

【請求項 17】

前記抗体が少なくとも 1 種の相補性決定領域 (C D R) を含み、該少なくとも 1 種の C D R が配列番号 : 3 ~ 8 に挙げられる少なくとも 1 種のアミノ酸配列を含む、請求項 16 に記載の細胞。

【請求項 18】

請求項 1 に記載の抗体をコードする核酸。

【請求項 19】

前記抗体が少なくとも 1 種の相補性決定領域 (C D R) を含み、該少なくとも 1 種の C D R が配列番号 : 3 ~ 8 に挙げられる少なくとも 1 種のアミノ酸配列を含む、請求項 18 に記載の核酸。

【請求項 20】

請求項 16 に記載の細胞を培養する工程を包含する、第 I X / I X a 因子に結合可能な抗体を作製する方法。

【請求項 21】

請求項 18 に記載の核酸を細胞内で発現させる工程を包含する、第 I X / I X a 因子に結合可能な抗体を作製する方法。

【請求項 22】

請求項 1 に記載の抗体ならびに薬学的に受容可能なキャリアおよび／または希釈剤を含む、薬学的組成物。

【請求項 2 3】

前記抗体が少なくとも一種の相補性決定領域（ C D R ）を含み、該少なくとも一種の C D R が配列番号：3～8 に挙げられる少なくとも一種のアミノ酸配列を含む、請求項 2 2 に記載の薬学的組成物。

【請求項 2 4】

前記薬学的組成物が、さらに第 I X 因子、第 I X a 因子、第 I X a 因子および／または第 I X 因子を含む、請求項 2 3 に記載の薬学的組成物。

【請求項 2 5】

薬学的に有効な量の請求項 1 に記載の抗体を含有する、血液凝固障害を罹患する患者を処置するための組成物。

【請求項 2 6】

前記抗体が少なくとも一種の相補性決定領域（ C D R ）を含み、該少なくとも一種の C D R が配列番号：3～8 に挙げられる少なくとも一種のアミノ酸配列を含む、請求項 2 5 に記載の組成物。

【請求項 2 7】

前記血液凝固障害が、血友病 A または出血性体质である、請求項 2 6 に記載の組成物。